平成14年3月20日
号　鈴木武一
第55号　発行　用賀出張所
TEL. 3700-3657

## 玉川高島屋SCの新しい顔

玉川高島屋ショッピングセンターは、総投資額130億円をかけ、二〇〇三年秋の開業を目指して、かねてより計画をしておりました南館増築工事に着手しました。

地下二階、地上十一階は既存の南館と各階で接続します。

増築延床面積は約二万八千㎡（店舗面積約一万㎡）建築デザインは大江匡氏（㈱プランテック総合計画事務所代表）によるもので、メインコンセプトは『時感・外感』。多摩川の自然を感じ、それを継承、イメージしながら「時を感じ、外を感じる」環境づくりを図ります。

自然光や風をとり込むプラットホームを建物前面に設け、「緑と水と太陽の街二子玉川」の顔として新しい生活空間を提供します。楽しみですね。

（編集委員　池田）

## 春の花いっぱいのガーデンアイランド

店長　宮本　武

ガーデンアイランドも瀬田にオープンして3回目の春です。近隣の皆様にご愛顧頂いてこの春も2階を中心にさまざまなお花を提供しようと思っています。

我々はお花を通じて地域の皆様に夢を与える事が、重要な仕事と思っております。園芸相談コーナーもございます。花の植え方、肥料のあげ方、病気になったら等、さまざまな園芸についてのわからない事があれば、どんどん相談コーナーにお越し下さい。

我々は、二子玉川の街を花と緑でいっぱいにする、お手伝いをしたいと思っています。

（取材　大坪）

## 街の移り変わり

（編集委員　鈴木武）

## 新しくなった世田谷の卸売市場

砧公園の隣で世田谷清掃工場と世田谷美術館の間に挟まれた八階建ての白い建物と広大な円形の建物が最近リニューアルした卸売市場です。平成13年4月から開設され、新しく切花や鉢物を扱う花卉部も併設されました。建物は「那」ですが運営は「世田谷市場協会」と云う八百屋さんの組合とか花を扱う業者達が協同で出資して施設を活用しています。秋には「せたがや市場まつり」を毎年催し、都民に新鮮な野菜やお花を安く提供しています。

地域に開かれた都民の台所市場として、視察、見学も歓迎とのことです。

（電話34-7。0-31）

（編集委員　柳田）

## 近ごろの用賀の街

春!!穏やかな日曜日。久し振りに用賀のまちを歩いてみて驚いた。あちこちに大型クレーンの柱が目につく。マンションの建設現場である。考えてみると近年この辺りも随分変わった。駅前のビルをはじめ建物も上へ上へとのびている。人口も増えた。緑が少なくなったとはいえ、馬事公苑、砧緑地など未だ未だ申し分なく、交通の面からも、都内でも有数の人気スポットであるらしい。

商店街も昨年プロムナードが完成し特売になった。あとは放置自転車…。

これは偏えに住民の意識にかかっている。

## 砧の新ランドマーク（ミニ会社）NHK技研

砧一丁目のNHK放送技術研究所は、わが国にラジオ放送が始まって五年後の昭和五年（一九三〇）、国内唯一の各種放送技術を研究する為設立された施設です。

空高く建っていた放送塔は、永いこと、世田谷通り際のシンボルでした。

今年、この地の跡に新たな十四階建ての建物が完成、再び砧のランドマークとなりました。

三月七日、九日と落成記念イベントがあり、四月から同建物の一階エントランスロビーでは、放送の最先端技術の展示が行われ一般公開されるとの事。

（編集委員　飯田）

## 落せてみる～近ごろ怖い町あるき

鈴木武一

ヘ時も流れて半世紀
あれから五十七年目
日米安保に守られて
平和安全あたり前
其んな気持ちですごしたら
そのアメリカがテロに遭い
中枢同時多発テロ
去年の秋の事でした
先ずハイジャック四機首が
世界貿易ビル目がけ
110階の大爆破
つづく命中ペンタゴン
あっと驚く　世界中
文化破壊のはじまりか？
犠牲者三千？五千とか
支援の力（ちから）自衛隊
ソレッ立ち上れ外務省
日本偉（えら）ぶっ…永田町
急いでアチコチ外地ゆき
調整する気か　何だろう？
中央アジアの問題や
イスラームの原理主義
小さいイジメの小ぜり合い
先ず狙われる現ナマが
通り魔事件やヒッタクリッ
ニッポン神さまやおよろず
キミ　ボク安全祈っても
御利やくあるのか無いのかな
アラーの神やエホバ神
どうした矢っ張りダメかなあ
又々時が早く過ぎ
狂牛病やら炭そ菌
花粉症など飛んじゃって
特殊部隊の攻撃は
アフガン突撃六ヶ月
長期戦だねテロ…ゲリラ
どうする　ドウ成るまだ続く
厳冬　いどむ米軍も
困りものだよテロ退治
もう止めて呉れ
おしまいだー。
～～サヨーナラ～～。

ひろば　ご希望の方は　出張所　においてありますのでどうぞ

| 回覧 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | |

# 郷土紹介

## 谷沢川の橋

谷沢川は桜丘の東京農業大学や宇山稲荷神社近くから流れ出した小川が世田谷通りを潜り、上用賀、用賀で、又、幾つかの小川を合わせ、中町、上野毛を流れ、等々力で、緑豊かな渓谷を形成している一級河川。

今から六十有余年前の昭和十年代、玉川全円耕地整理事業が進む中で、この谷沢川の上には、新たに幾つもの橋が架けられた。

中町から用賀へ、岸辺の道を辿ると、まず最初の橋は上の橋、続いて栄橋、宇佐前橋、この辺りは世田谷区指定の、みどりのモデル地区、両岸の桜の並木が美しい。国道二四六号線を過ぎ、尚も進むと、三角橋、桜橋、寺橋、田中橋と続く。

行政上の区分では、この田中橋までが河川で、これより上流は公共游歩道となり現在、その流域は殆んどコンクリートの蓋がしてあって川の面影は無いが、高速道路下の南橋、用賀中学校北側の第六天橋が僅かに往時を偲ばせる。又、用賀のいらか道、水路脇には中丸橋の名が復活している。

この他、記録の上では、田楽橋、中里橋、本村橋、富士見橋、昭和橋、三峯橋等々の名称が残っているが車の行き交う町中からは、今、その姿は消えている。

（飯田）

# 地域とともに歩む教育をめざして

二子玉川小学校　教頭　野村洋子

今年、創立六十周年を迎える二子玉川小学校。

『六十周年に向けて二子玉川小を紹介しよう』という総合的な学習で、五、六年生が二子の街や二子玉川の歴史、地域の行事等を調べ、発表し合いました。街へ出かけていき、商店や街の人々から取材をしたり、街のことにくわしい方に学校に来て、話をしていただいたりしました。

子ども達だけでなく教職員も、二子の街や歴史について新しい発見をし、地域をより深く知る機会となりました。

一、二年生の生活科『昔の遊びを教わろう』では、鶴寿会、郷土史会、商店会から二十名余の方々に来ていただき、さまざまな昔の遊びを教えていただいたりいっしょに遊んだりしました。技をマスターしたときの子どもの顔、地域の方との勝負に挑む姿…どの子も生き生きと輝いていました。学校へのご協力ご支援に本当に感謝しております。学校の敷居が高いと感じられないよう、私達も努力していきます。

『学校から地域へ、地域から学校へ』いつでも気軽に行き来ができる関係でいたいと思います。

どうぞ、いつでも二子玉川小においで下さい。

## 学校へどうぞ

# 二つのふるさと

瀬田三丁目　反川春代子

私は北区王子で生まれました。ここの飛鳥山公園の桜が有名です。

大きな原っぱが子供たちのたまり場で、年上の子も年下の子も一緒に、皆で仲良く一日中遊び暮らしていました。

表通りの、よろず相談役の薬やさんとか、大きな氷を大きな鋸でガシガシ切っている角の氷やさんとか、「ミルクホール」とか、お店のいくつかは今でも目に浮かびます。

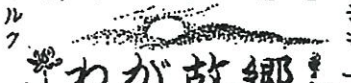
新年の御子舞、チーンと鐘を鳴らして玄関先に立つ物行僧、金魚売り、しんこ飴のおじさん、紙芝居の熱演、「午の日」の縁日…。

戦前の昭和のよき時代でした。戦時色が濃くなりだしてこのような風物詩もだんだん消えていき、その頃、昔の「砲線」の吉沢に引越しました。

当時の吉沢は家も建て込んでなく、春の一面の、れんげ草や山に沈む大きな夕陽など自然が美しく、四季の移り変わりに興味を持つようになって、二子玉川小学校に通学する時、わざわざ田んぼの畦道を通って行ったものです。

下町的な王子の町と、田園の名残りのあった世田谷と二つの故郷で幸せな子供時代を送ったと思います。

## わが故郷



# スポット

これからは日ごとに太陽の明るさが増してきます。暖かい春、地域のいろいろな催しに足を運んでみませんか。

### 花みず木王スティバル

今年で第20回目を迎えるフェスティバルが4月29日のみどりの日に、多摩川の兵庫島公園で開催されます。午前10時から午後3時まで、楽しい催しがいっぱいです。（二子玉川駅から徒歩で）

### 介護予防教室

寝たきりゼロをめざして今年も、毎月第一水曜日の午後1時45分から、用賀神社の社務所で開催されます。

問合せ先（3702）1948（保健福祉センター）

# あとがき

51号で夢ふくらむ21世紀に期待する記事を載せましたが、現実は一寸先は闇。

アメリカ貿易センタービルへの自爆テロ、それへの報復攻撃と惨憺たる船出となってしまいました。神は人類に何とむごい試練を与えるのでしょうか。

ともあれ『時』は確実に動きます。本号は古きよき面影と共に、今は無き谷沢川の橋々、まちのファッションを彩る二子玉川、巨大な建物に変貌したNHK技研、御売市場、時々刻々姿を変える『街』を捉えてみました。

春のひととき、わがまちの散策はいかがでしょうか。

（柳田）



筆耕・カット　折原